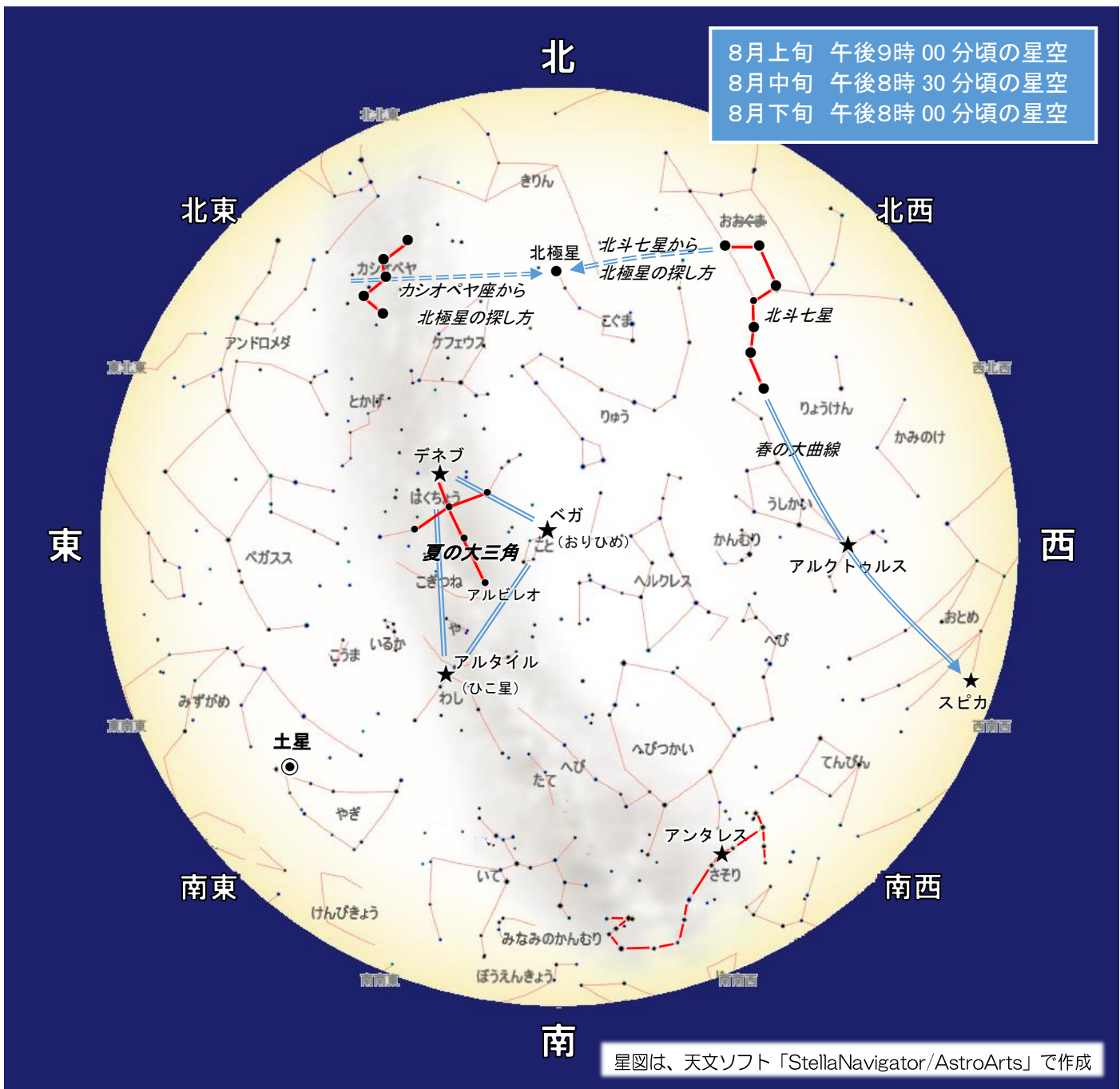


2022年 8月の星空案内



8月上旬 午後9時 00 分頃の星空
 8月中旬 午後8時 30 分頃の星空
 8月下旬 午後8時 00 分頃の星空



【8月の星空と惑星】

天頂付近に「夏の大三角」が見えます。七たの星 こと座の「ベガ(おりひめ星)」、わし座の「アルタイル(ひこ星)」と はくちょう座の「デネブ」を結びます。もともと七たは旧暦7月7日(今年は8月4日)の行事で、この日を「伝統的七た」と呼びます。白鳥座のくちばし部分にある「アルビレオ」は二重星、望遠鏡では黄色い3等星と青い5等星が寄り添う姿が見られ、宇宙の宝石と呼ばれています。

東の空からは土星が昇ってきます。15日には「衝」(地球から見て太陽の反対側)の位置にくるので、一晩中見ることが出来ます。またこの日は、満月すぎの月と並んで見えます。

夜半過ぎには、木星や火星が東の空から昇ってきます。火星は12月1日の最接近に向けて、明るさが増していく様子を楽しめます。

【ペルセウス座流星群(条件：厳しい)】

12(金)~13日(土)は、3大流星群の1つ『ペルセウス座流星群』の極大日です。今年は残念ながら前日が満月で一晩中月明かりがあるので厳しい条件です。極大予想時刻が13日の午前10時(天文年鑑)ですので、12日の晩から13日にかけて、月明かりにも負けない明るい流星を期待しましょう。